

製品名: PHF1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16062**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	62kDa

抗原情報

遺伝子名	PHF1
別名	PHF1; PCL1; PHD finger protein 1; Protein PHF1; Polycomb-like protein 1; hPCL1
遺伝子 ID	5252.0
SwissProt ID	O43189
免疫原	抗血清はヒト PHF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 345-394

背景

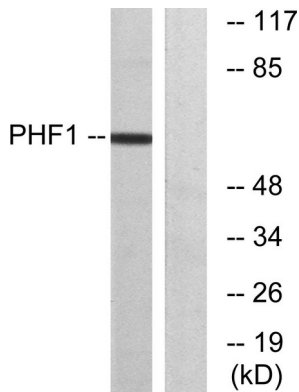
この遺伝子はポリコムグループタンパク質をコードしています。このタンパク質はヒストン H3 リジン-27 (H3K27) 特異的メチルトランスフェラーゼ複合体の構成要素であり、ホメオティック遺伝子の転写抑制に作用します。このタンパク質は二本鎖切断部位に

もリクルートされ、タンパク質レベルの低下は X線感受性と相同組換えの増加をもたらします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 5 月],機能: 転写抑制因子。PRC2/EED-EZH2 複合体によるヒストン H3 の「Lys-27」メチル化を促進する可能性があります。類似性: 2つの PHD 型ジンクフィンガーを含みます。細胞内局在: 多数の標的遺伝子のプロモーター領域に特異的に局在します。サブユニット: CHMP1 と相互作用します (類似性による)。PRC2 複合体と相互作用します。組織特異性:心臓、骨格筋、膵臓に最も多く存在し、脳、胎盤、肺、肝臓、腎臓に最も少なく存在します。、

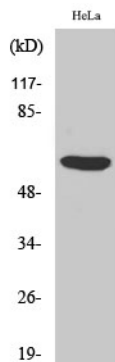
研究分野

クロマチンリモデリング、ポリコームサイレンシング、PRC2、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、その他の因子

画像データ



PHF1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PHF1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。